

ヒノキバヤドリギ

Korthalsella japonica (Thunb.) Engl.
ビャクダン科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内では稀産種で、現在知られている生育地は1地区のみである。

分布

本州（関東地方以西）～九州に分布。県内では嶺南地方の一部で確認されている。

種の特徴

一部の常緑広葉樹に寄生する常緑低木。高さ5～20cm。茎は緑色で無毛、扁平で、古いものは両側に翼状に広がり、節が多数あり、節から折れやすい。対生する葉は小さな突起状で輪になって節を取り巻く。春～秋頃、節ごとに数個の小さな花を付ける。花は単性で雌雄同株。

生育を脅かす要因

森林伐採等による生育環境の消失や悪化のほか、産地が限られていることによる。

参考文献 佐竹義輔ほか(1989a)、福井県自然保護課編(2004)、福井県樹木誌(2011)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

ヒメタデ

Persicaria erectominor (Makino) Nakai
タデ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地、個体数とも極めて少ないと判断されるが現在の分布情報が不足している。

分布

北海道～九州に分布する。県内では1933年に敦賀市で記録がある。

種の特徴

水湿地に生える一年生草本。茎の下部は地をはい、上部は直立して少数枝を分け、無毛で、高さ20～45cmになる。葉は短柄があり、広線形～長披針形、先は鋭形、表面は無毛か短毛があって、裏面は脈上に粗い短毛がある。花期は5～10月。総状花序をつける。

生育を脅かす要因

湿地開発、自然遷移の進行が生育を脅かす。

参考文献 佐竹義輔ほか(1982b)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○											

ホンバノウナギツカミ

Persicaria praetermissa (Hook.f.) H.Hara
タデ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

以前に越前町、あわら市、坂井市で採集記録があるが、現在の生育状況が不明であるので、要注目とした。

分布

本州～九州に分布する。県内では越前町、あわら市、坂井市で記録がある。

種の特徴

池畔や河畔、田の畔等水辺に生える一年草。茎に逆刺があるタデ属の中では花が頭状に集まらず、穂状にまばらにつく特徴がある。地表を這う匍枝をだし、節から発根して広がる。浅い水路中に沈水状態で生育することもある。

生育を脅かす要因

湿地の開発、溜池や農業用水路の改変等による生育地喪失が生育を脅かす主要因と考えられる。

参考文献 北村四郎・村田源(2008)

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
							○				○		○				